



くらのなび農園

2016/11/22

～11月は秋野菜の収穫～



11月6日(日) 晴れ時々曇り

青空が広がるくらのなび農園で、大人6人、子ども5人の計11人で、サトイモと大根の収穫をしました。

管理人の帰山さんは「収量は少ないけど」とおっしゃいますが、日常の管理をしていただけのおかげで、たくさん収穫できました。大きなサトイモはイベントで芋もちに使います。小さめのサトイモは参加者のお土産に。

次は大根抜き。土から出した大根を見比べながら、大きな大根を抜きました。お土産のサトイモと大根で今夜は何をつくらうか？

ご近所のおばちゃんから「秋グミ」をいただき、みんなで試食。初めて食べる秋グミは、梅雨時期のグミを小さくした食感で、中に種がある感じはざくろにも似ていて、甘酸っぱさがが山の恵みを感じさせてくれました。



サトイモだよー



こんなに太い大根だよー



甘酸っぱい“秋グミ”

11月13日(日) 晴れ

晴れ上がった日曜日、ソバの刈り取りをしました。日中の気温が上がり、汗ばみながらの刈り取りです。午前中に刈り取りを終了し、おむすびとりんご、地元のやまうに入りたこ焼きで一服した後、午後からは脱穀作業です。

年代ものの足踏み脱穀機は今年も健在。でも、今年の刈り取ったソバは背丈が長くて、風で倒れて折れ曲がっていて、脱穀にとっても手間がかかりました。午後4時ようやく終了。脱穀したそばの実は十分乾燥させた後、そばの実とゴミを選別します。

一昨年、昨年と収量がとても少なくてそば打ちができませんでしたが、今年はそば打ちをなんとかしていただきたいですね。



そばの刈り取り



足踏み脱穀機で脱穀。



箕で大きなごみを取り除いています

農園での年内の共同農作業は終了。12月はそば打ちとしめ縄づくり、1月22日(日)は第10回を迎える農園収穫大感謝祭、2月は味噌づくりを予定しています。冬も、農園の収穫物を使った楽しいイベントが目白押しです。

12月の日程は、会員の皆様にはそのつどお知らせします。